

道の駅について

国土交通省
平成25年9月

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

- ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

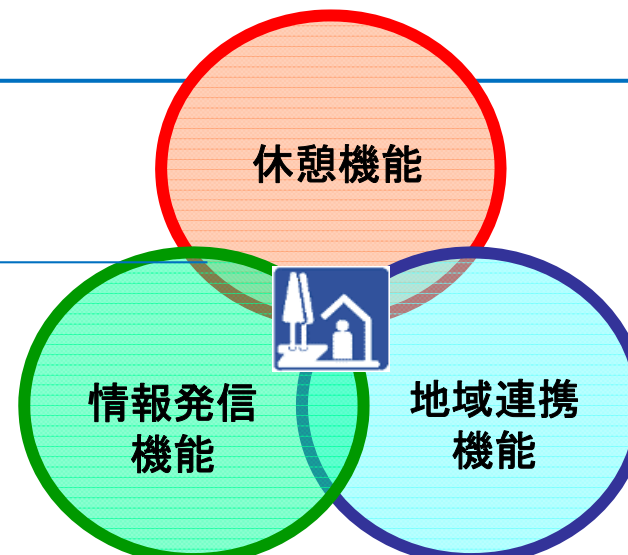
- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能

- ・文化共用施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

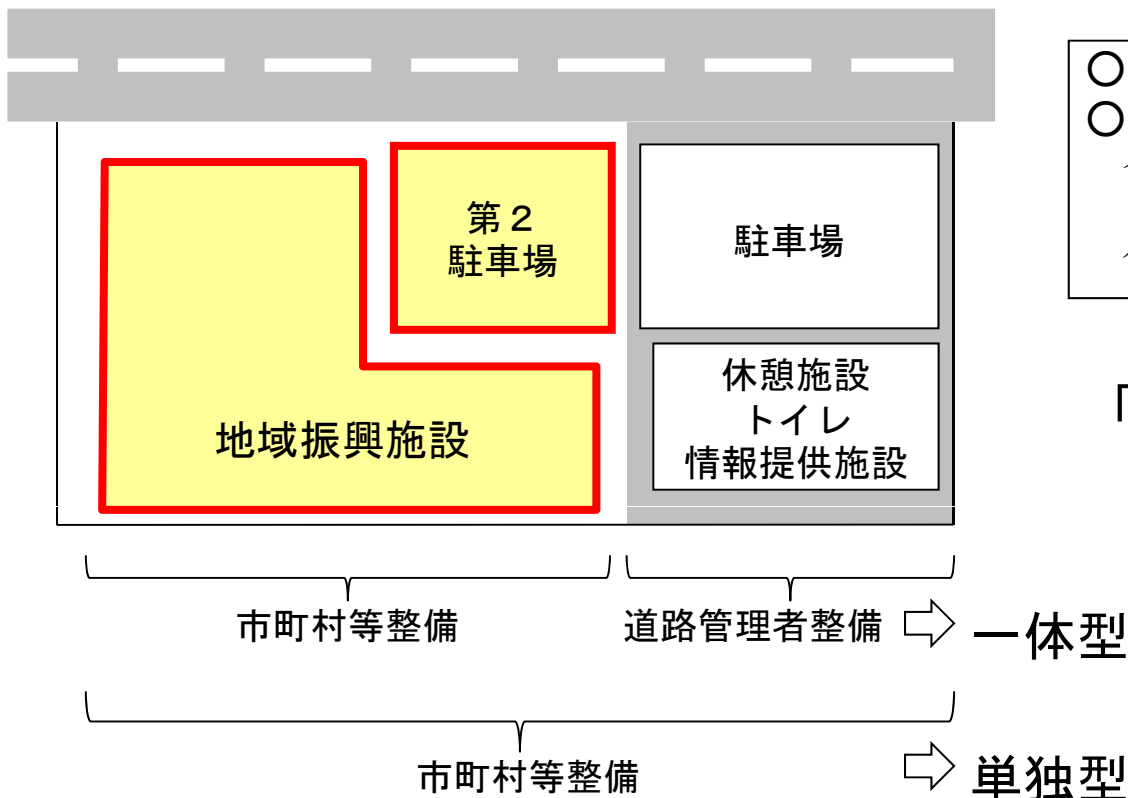
地域とともに作る
個性豊かな
にぎわいの場



災害時は、防災機能を発現

- 「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- 登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 登録要件は、24時間利用可能な駐車場・トイレ、情報提供施設、地域振興施設を備えている事
- 整備の方法は、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類

整備主体と整備内容



「道の駅」の設置者

- 市町村長
- 市町村に代わり得る公的な団体
 - イ.都道府県
 - ロ.地方公共団体が三分の一以上を出資する法人
 - ハ.市町村が推薦する公益法人

「道の駅」の登録数

平成25年4月現在

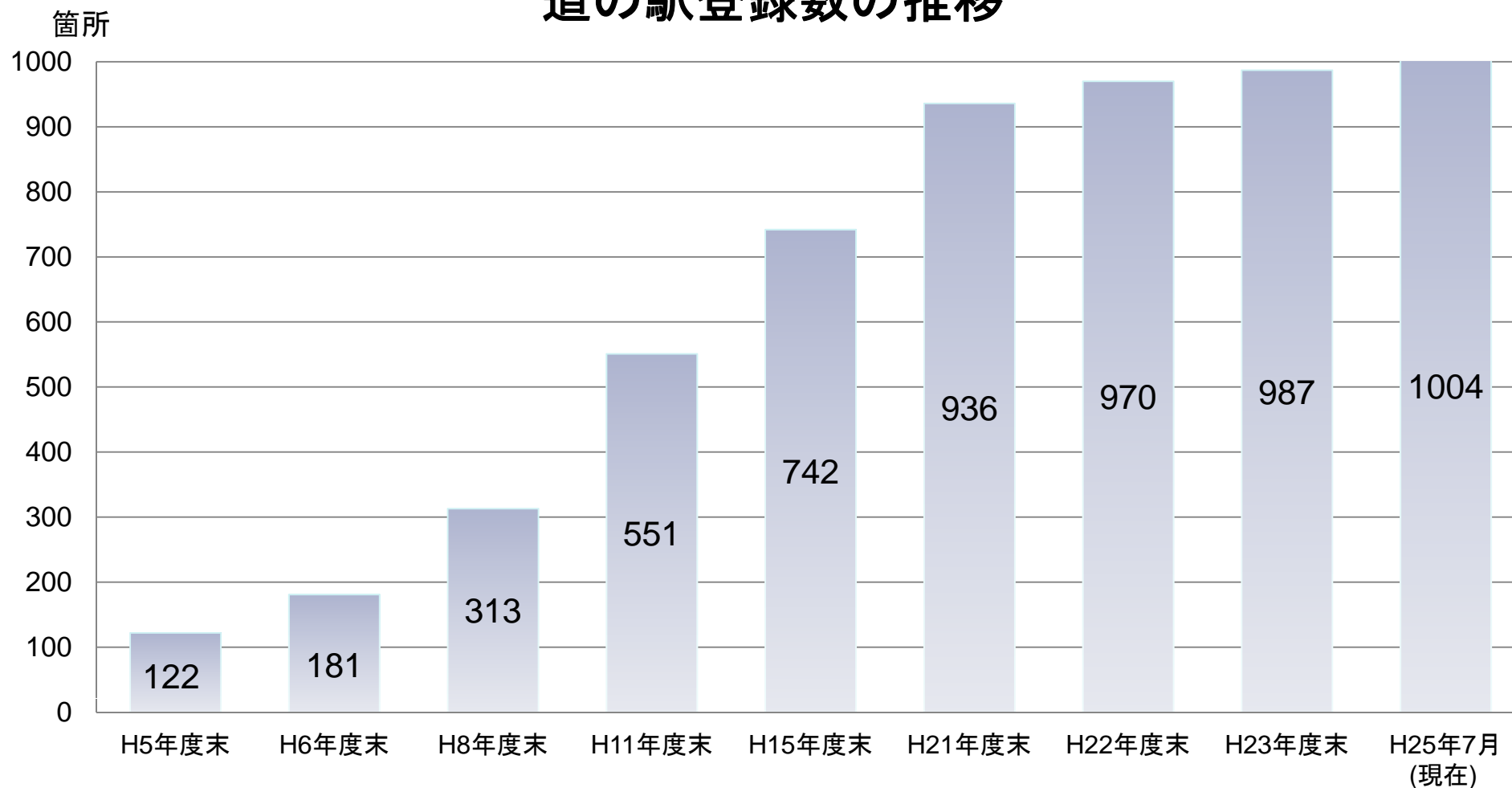
「道の駅」総数1,004駅

うち一体型：583駅(58%)

うち単独型：421駅(42%)

平成5年4月に「道の駅」として初めて103箇所を登録、その後、現在まで約20年間に1004箇所を登録

道の駅登録数の推移



- 「道の駅」は、殆ど市町村で設置
- 管理・運営は、指定管理者等が約4割、第三セクターが約3割

道の駅 設置者・管理者別数

○設置者種別

設置者	箇所数	構成比率	備考
自治体(市町村)	985	98.1%	
自治体(都道府県)	6	0.6%	
第三セクター	8	0.8%	
公益法人	5	0.5%	
合計	1,004		

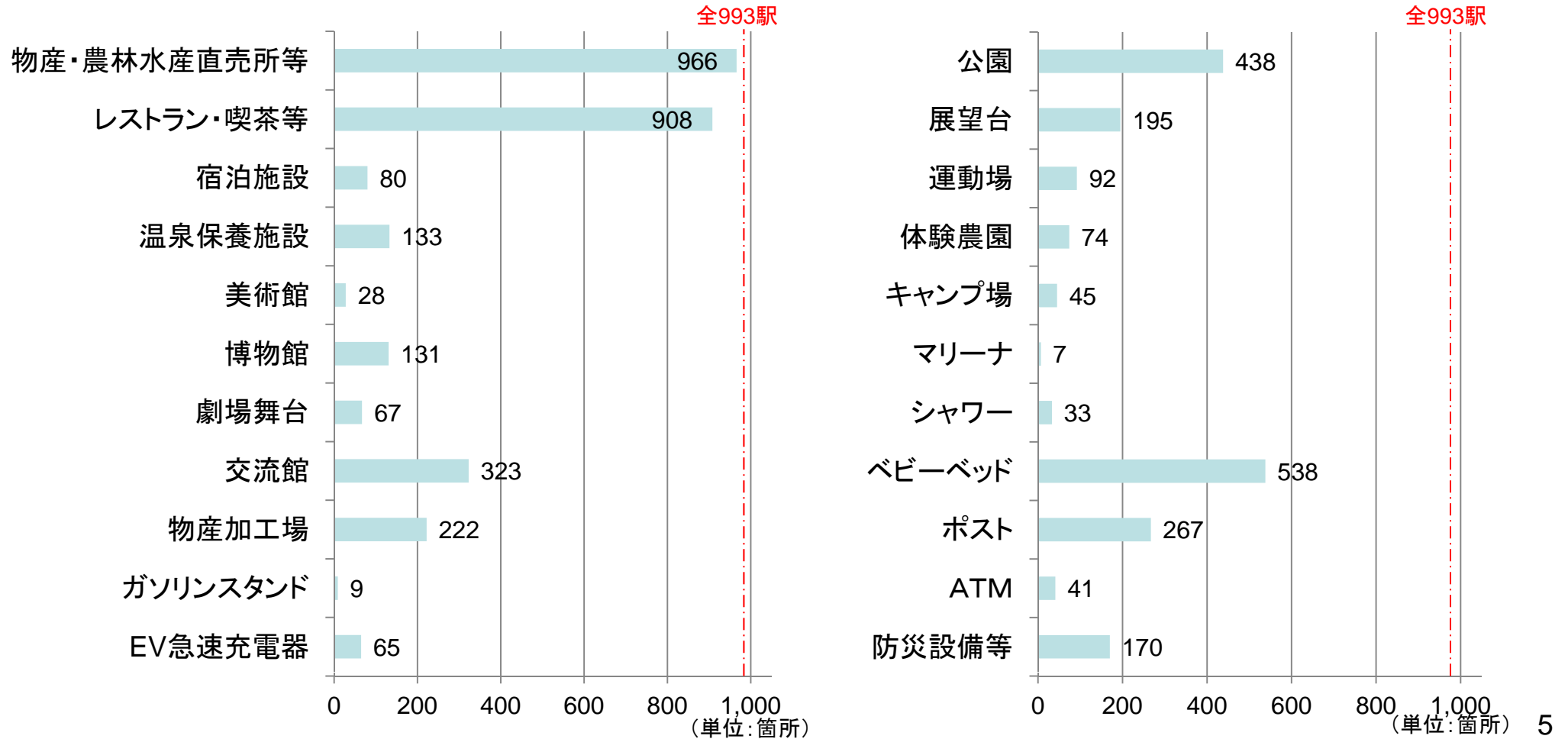
○管理・運営者種別

管理・運営者	箇所数	構成比率	備考
自治体	158	15.7%	
第三セクター	312	31.1%	
財団法人等へ委託	89	8.9%	観光施設管理協会、地域振興財団 等
指定管理者 等	445	44.3%	JA、民間会社 等
合計	1,004		

「道の駅」の地域振興施設の内容

- 物産・農林水産直売所等やレストラン・喫茶等は、多くの「道の駅」で整備
- 設備面では、ベビーベッド、ポスト、また、防災設備も整備

「道の駅」の主なサービス施設の概要



※データは平成25年4月1日時点供用の道の駅:993箇所のうち整備箇所数(一部の設備は計画中、構想中を含む)

<安全で快適な道路交通環境の提供>

【24時間利用可能なトイレ、休憩場所、道路情報提供施設】

①道路利用者への交通安全に寄与

- 休憩場所の提供
- ドライブに必要な道路情報の提供

<地域振興への寄与>

【地域振興施設・観光情報提供施設】

②観光拡大効果

- 観光拠点情報の提供
- スタンプラリー等のイベント実施
- 地域の特産品等の紹介・販売

③地域の雇用、就業拡大効果

- 農産品等の生産拡大
- 農産品等の出荷・販売場所
- レストラン等での雇用の場

④地域コミュニティの拡大効果

- 地域の交流の場
- 農産品等の生産者間の交流の場

<防災拠点機能>

【防災設備】

⑤災害対策の拠点

- 自衛隊等の災害対策の拠点
- 救援物資の中継場所
- 臨時避難所として利用
- 緊急輸送路、災害状況の情報提供

「道の駅」の事例(基本機能)

■道の駅「細入」 富山県富山市

(H5.4の第1回登録)

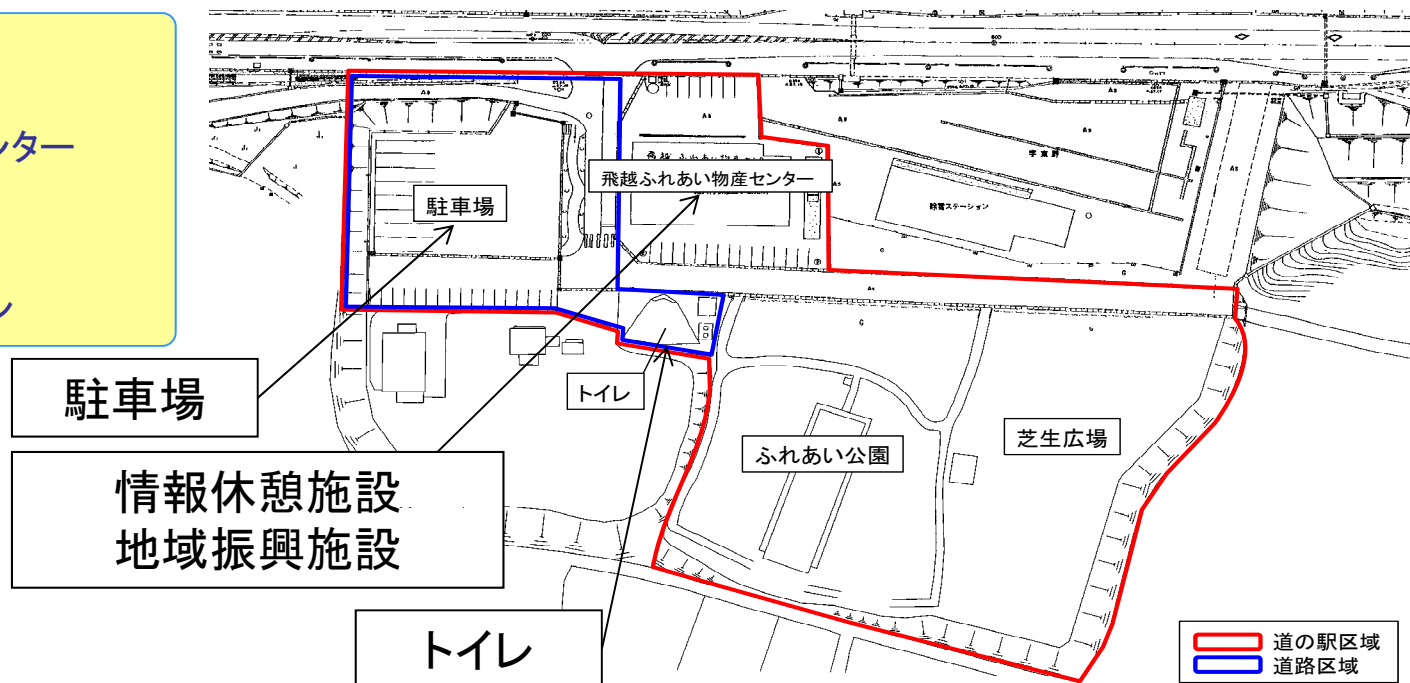
概要

- 路線名：一般国道41号
- 所在地：富山県富山市
- 供用：平成6年6月
- 全体面積：約17,000 m²
- 駐車台数：大型 9台
普通車 33台
身障者用 2台



<主要施設>

- 【食事】 食事処
- 【店舗・売店】 物産館、物産センター
- 【公園】 ふれあい公園
- 【情報コーナー】 道路情報施設、観光案内所、インフォメーション



「道の駅」の事例(多様な地域振興施設がある例)

■道の駅「針T・R・S(テラス)」 一般国道25号 奈良県奈良市
物産販売、飲食施設のほか、歴史展示施設、温泉施設等を兼ね備えた「道の駅」

概要



- 路線名：一般国道25号
- 所在地：奈良県奈良市
- 供用：平成13年7月
- 全体面積：約63,000 m²
- 駐車台数：大型 50台
普通車 460台
身障者用 6台

<主要施設>

- 【物産販売等】地域特産物の販売、季節限定各種土産販売、輸入雑貨販売
- 【飲食施設等】イタリア料理、定食、ファストフード、菓子、パン等、自動販売コーナー
- 【地域振興施設】歴史展示室、高原野菜の販売
- 【その他】観光イチゴ園、温泉施設、コンビニエンスストア、ゲームコーナー、銀行ATMほか



至上野・名古屋



「道の駅」事例(防災機能を強化した例)

■道の駅「三本木」 一般国道4号 宮城県大崎市

地震や大規模災害時の防災拠点として対応するため、道の駅「三本木」と周辺施設が一体となって、平成20年度に整備した。東日本大震災においても、その機能を発揮。

概要



- 路線名：一般国道4号
- 所在地：宮城県大崎市
- 供用：平成7年4月
- 全体面積：約22,000㎡
- 駐車台数：大型 29台
普通車 125台
身障者用 2台



東日本大震災時は、一次避難所として利用

地方自治体と連携した施設等の整備

道路管理者

- ◆道路情報提供施設の整備(非常用電源)
- ◆駐車場、災害用トイレの整備

地元自治体

- ◇地域振興施設、防災施設の整備
- ◇地域防災計画への位置づけ
 - 一次避難所、応援部隊集結・活動・連絡拠点ほか
 - 防災情報ステーション 等



非常用発電設備



災害用トイレ



道の駅が果たす地域観光のゲートウェイ機能

道の駅「摩周温泉」

- 所在地：北海道川上郡弟子屈町
- 路線名：一般国道241号



■地域観光のゲートウェイ機能

- ・観光インフォメーションデスクを設置

- コンシェルジュが**周辺地域を含めた観光情報を提供**
- ツアーデスクでは、**細かなニーズに対応した周辺地域での観光モデルルート**を提案



摩周湖

■シーニックバイウェイ北海道との連携

- ・平成23年度から「**シーニックバイウェイ北海道**」の**地域活動団体**と「道の駅」が連携して、釧路・根室地域限定のスタンプラリーを実施
- ・周遊観光機会を創出し、地域間交流を促進